



2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月12日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴将

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	4,233	19.5	14	95.4	35		28	
2018年9月期第1四半期	5,261	2.6	323	46.4	301	19.8	176	9.0

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 182百万円 (%) 2018年9月期第1四半期 127百万円 (54.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	2.70	
2018年9月期第1四半期	16.11	15.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	25,257	2,996	10.5
2018年9月期	26,130	4,225	14.8

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 2,655百万円 2018年9月期 3,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		11.50		13.50	25.00
2019年9月期					
2019年9月期(予想)		12.50		12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,805	3.9	434	15.2	340	22.7	187	32.6	17.29
通期	18,832	0.1	875	0.9	698	3.3	380	8.3	35.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	10,956,500 株	2018年9月期	10,956,500 株
期末自己株式数	2019年9月期1Q	720,828 株	2018年9月期	57,828 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	10,564,048 株	2018年9月期1Q	10,922,515 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況、(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、消費が底堅く推移するものの、企業業績については概ね堅調に推移するなか、海外でのハイテク関連製品等の減産の影響から不透明な要素も散見される状況となってまいりました。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は4,233百万円(前年同四半期比19.5%減)、営業利益は14百万円(前年同四半期比95.4%減)、経常損失は35百万円(前年同四半期は301百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は28百万円(前年同四半期は176百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、2017年9月に和歌山県和歌山市に「エスケーアイ和歌山発電所」を開設し、現在8発電所(内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営)が順調に稼働する一方で、今後の東広島の大型プロジェクトの先行投資も発生しており、また、12月の日照時間が極端に短い地域が散見され、売電金額にも影響がありました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は327百万円(前年同四半期比13.3%増)、営業利益が105百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。

②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、2018年9月末現在で携帯電話の普及台数が17,100万台を超えましたが、スマートフォン(iPhone X)を中心とする新機種が2018年10月迄に発売され、各移動体通信事業者とも積極的な販売競争を展開し、電力と通信等とのセット販売を強化しましたが、端末価格の高騰化と使用期間が長期化する影響から市場環境は厳しく販売台数は大幅に減少いたしました。当社は引き続き各店舗において顧客満足度の向上と、総合力アップを図りながら販売促進に努めております。この結果、当第1四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ27,480台(前年同四半期比29.3%減)となりましたが、積極的な営業施策を展開し、顧客満足度の向上と各店舗の総合力を向上した結果、売上高は3,474百万円(前年同四半期比22.0%減)、営業利益は73百万円(前年同四半期比72.6%減)となりました。

③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、2014年4月に開設した新潟支店の業績も順調に推移しており、更に販売力と一人あたりの生産性の向上に繋げるほか、リスク分散も考慮し複数の保険会社の商品の取扱を継続しておりますが、保険会社のインセンティブ体型が変更となる影響が表れ始めました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は240百万円(前年同四半期比23.9%減)、営業損失は21百万円(前年同四半期は60百万円の営業利益)となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネージメント株式会社は2009年9月に設立後、2010年7月に葬儀会館「ティア西尾」をオープン以降現在5会館を運営し、当期7月には愛知県内に新会館のオープンを予定しており、今後の需要を見据えた積極的な営業政策を継続し会員の増加にも努めております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は174百万円(前年同四半期比6.4%減)、営業利益は16百万円(前年同四半期比29.1%減)となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で2007年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は20百万円(前年同四半期比2.1%増)、営業利益は6百万円(前年同四半期比3.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は25,257百万円となり、前連結会計年度末の資産合計26,130百万円と比べ872百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,193百万円減少した一方で、商品が436百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は22,261百万円となり、前連結会計年度末の負債合計21,904百万円と比べ356百万円増加しました。これは主に、短期借入金が537百万円増加した一方で、未払法人税等が194百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は2,996百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,225百万円と比べ1,228百万円減少しました。これは主に、自己株式が883百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の業績予想につきましては、第1四半期の業績は想定以下の進捗で推移しておりますが、第2四半期以降太陽光発電の売電額・利益の好転が見込める他、第2四半期以降の移動体通信機器販売関連事業で売上・利益が増加する施策を実施する予定であるため、第2四半期連結累計期間、通期とも当初の計画(2018年11月12日付の決算短信で公表)を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,690,584	4,496,821
売掛金	2,622,740	2,659,885
商品	803,021	1,239,357
その他	146,492	130,213
流動資産合計	9,262,839	8,526,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,973,145	1,988,074
機械装置及び運搬具(純額)	7,214,379	7,102,787
土地	2,927,758	2,927,758
建設仮勘定	2,322,300	2,397,897
その他(純額)	60,705	59,474
有形固定資産合計	14,498,288	14,475,992
無形固定資産		
のれん	180,568	180,568
その他	476,781	468,845
無形固定資産合計	657,349	649,413
投資その他の資産		
その他	1,712,234	1,610,078
貸倒引当金	—	△3,797
投資その他の資産合計	1,712,234	1,606,281
固定資産合計	16,867,873	16,731,687
資産合計	26,130,712	25,257,964
負債の部		
流動負債		
買掛金	995,070	1,215,211
短期借入金	3,882,336	4,420,000
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	843,635	857,591
未払法人税等	204,653	10,586
賞与引当金	130,451	67,874
役員賞与引当金	63,000	16,400
その他	718,904	679,410
流動負債合計	7,338,051	7,767,074
固定負債		
社債	1,240,000	1,240,000
長期借入金	12,228,150	12,156,933
繰延税金負債	489,264	411,351
役員退職慰労引当金	115,300	120,750
退職給付に係る負債	103,320	102,913
資産除去債務	269,184	269,722
その他	121,605	192,319
固定負債合計	14,566,824	14,493,989
負債合計	21,904,876	22,261,063

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,132,029	1,947,563
自己株式	△39,909	△923,292
株主資本合計	3,524,457	2,456,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,313	309,906
繰延ヘッジ損益	△61,884	△111,116
その他の包括利益累計額合計	348,428	198,789
新株予約権	11,287	10,432
非支配株主持分	341,662	331,069
純資産合計	4,225,836	2,996,901
負債純資産合計	26,130,712	25,257,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	5,261,320	4,233,029
売上原価	3,858,375	3,053,181
売上総利益	1,402,945	1,179,847
販売費及び一般管理費	1,079,462	1,164,963
営業利益	323,482	14,883
営業外収益		
受取利息	2	79
受取保険金	7,382	1,856
受取配当金	11,614	12,862
為替差益	0	—
その他	7,461	9,014
営業外収益合計	26,462	23,812
営業外費用		
支払利息	32,048	43,667
融資手数料	9,482	10,857
為替差損	—	1
貸倒引当金繰入額	—	3,797
その他	7,288	15,993
営業外費用合計	48,819	74,317
経常利益又は経常損失(△)	301,125	△35,620
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	—	9,521
特別損失合計	—	9,521
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	301,125	△45,142
法人税等	116,419	△12,090
四半期純利益又は四半期純損失(△)	184,706	△33,052
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	8,698	△4,498
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	176,007	△28,553

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	184,706	△33,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,288	△100,516
繰延ヘッジ損益	△1,893	△49,232
その他の包括利益合計	△57,181	△149,748
四半期包括利益	127,524	△182,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,816	△178,192
非支配株主に係る四半期包括利益	8,707	△4,608

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年9月25日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けにより自己株式684,300株を取得しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が883,382千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が923,292千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	288,934	4,453,233	316,572	186,836	15,742	5,261,320	—	5,261,320
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	4,746	4,746	△4,746	—
計	288,934	4,453,233	316,572	186,836	20,489	5,266,067	△4,746	5,261,320
セグメント利益	101,514	267,300	60,230	22,884	6,369	458,299	△134,816	323,482

(注) 1. セグメント利益の調整額△134,816千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△136,987千円及びその他の調整額2,171千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	327,271	3,474,334	240,886	174,813	15,723	4,233,029	—	4,233,029
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	5,196	5,196	△5,196	—
計	327,271	3,474,334	240,886	174,813	20,920	4,238,226	△5,196	4,233,029
セグメント利益 又は損失(△)	105,515	73,160	△21,334	16,220	6,608	180,170	△165,286	14,883

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△165,286千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△165,640千円及びその他の調整額354千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。